# 第2学年 国語科

#### 学習教材および学習の進め方

3 L3X13000 10 3 L3XL3X13						
,—	国語2(光村図書)		<ul><li>教科書・青ノート</li></ul>			
	漢字「くりかえし漢字2」(秀学社)		• 漢字「くりかえし漢字2」			
使	最新国語資料集(明治図書)	持	<ul><li>のり</li></ul>			
用		ち	指示があるとき			
教		物	• 最新国語資料集			
材			・灰ノート			
	ノ座かた労力を自につけてにけて					

## <確かな学力を身につけるには>

- 授業中、わからないことがあれば周りの人に聞こう。
- 自分の考えを発表したり書いたりする習慣を身につけよう。
- ・読書の習慣、こまめに辞書を引く習慣を身につけよう。

## <家庭学習では>

☆復習…漢字の読み書き、語句の意味、言葉のきまりなど、覚えるべきことは繰り返し復習しよう。

☆音読…読むたびに気づきがあります。何度も教科書を声に出して読んで、理解を深めよう。

☆辞書…わからない言葉はすぐに調べる習慣を身につけよう。

☆要約…説明文などの文章を自分の力でまとめ直してみよう。読み取る力が身につきます。

#### <定期テストでは>

•1 学期 2 回(中間・期末)、2 学期 2 回(中間・期末)、3 学期 1 回(学年末)、合計 5 回の定期テストを行います。授業で学習した内容を中心に出題します。

#### <学び合いについて>

- ペア学習やグループ学習を活かし、わからないことはそのままにせず積極的に訊き合おう。
- 聞かれた人は丁寧に答えよう。分かっていることでも、改めて説明することで、学びが深まります。

### 授業の準備は始まりのチャイムが鳴るまでにしておきましょう。

- かばんは床に置いたり机の横にかけたりしないで後ろのロッカーに入れましょう。
- ・学び合いの学習のときは、4人の学習グループになります。
- ・提出物の期限は必ず守りましょう。期日はメモをとって忘れないようにしましょう。
- ・授業で使用したプリントは、ノートに貼って整理し、テスト前に必ず見直しましょう。
- ・毎日の宿題はありませんが、漢字・語句の学習は着実に積み上げていきましょう。
- ・プリントの記述は、丁寧な字で書き、答えを写すだけの作業にならないように意識しましょう。
- 漢字小テストは「くりかえし漢字2」から出題します。漢字テストは連絡して行います。

学習

学

漝

 $\mathcal{O}$ 

進め

方

上の注

意

## 学習内容および評価規準

		つよび評価規準	
	月	単元計画	
_	4	見えないだけ【読む】	
学		アイスプラネット【読む・書く】	中
期		枕草子【読む・言語】	間
	5 クマゼミ増加の原因を探る【読む】 魅力的な提案をしよう【話す・聞く】		
			期
		メディアの特徴を生かして情報を集め	末
	6	よう【読む】	
		単語をどう分ける?【言語】	
	7	短歌に親しむ・味わう【読む】	
		言葉の力【読む】	
		類義語•対義語•多義語【言語】	
	9	ヒューマノイド【読む】	
		字のない葉書【読む】	
		表現を工夫して書こう【書く】	ф
		敬語【言語】 推敲【書く】	間
		同じ訓・同じ音をもつ漢字【言語】	
_	10	モアイは語る-地球の未来【読む】	
_	月夜の浜辺【読む】		
学		平家物語【読む・言語】	
期		扇の的-「平家物語から」【読む・言語】	
	11	仁和寺にある法師-「徒然草」から【読む・言語】	期
		漢詩の風景【読む・言語】	末
		君は「最後の晩餐」を知っているか【読む】	
	12	具体と抽象【言語】	
		走る。走らない。走ろうよ。【言語】	
	1	走れメロス【読む・書く】	
		一字違いで大違い【言語】	
三		描写を工夫して書こう【書く】	学
学		話し言葉と書き言葉【言語】	年
期	2	送り仮名【言語】	末
		文法(自立語、用言の活用、付属語)【言語】	
	3		

	評価の観点(評価の方法(見取り)						
知	・情報と情報の関係について理	定期テス					
識	解している。	<b>-</b>					
•	・古典に表れたものの見方や考						
技	え方を知ることができる。	小テスト					
能	<ul><li>学習した常用漢字を読み、書</li></ul>						
	き、文や文章の中で使うことが	授業の成					
	できる。	果物					
	<ul><li>話の構成を工夫することがで</li></ul>	定期テス					
	きる。	<b>-</b>					
	・自分の考えがわかりやすく伝						
思	わる文章になるよう工夫でき	小テスト					
考	る。						
•	・読み手の立場に立って、文章	   授業の成					
判	を整えることができる。	果物					
断	<ul><li>めあてに応じて内容を解釈で</li></ul>						
	きる						
·	20						
表							
現							
主	・学習に粘り強く取り組んでい	定期テス					
体的	<b>る</b> 。	<b>-</b>					
的に学習に	<ul><li>自らの学習を調整している。</li></ul>	小テスト					
学	・言葉を通じて積極的に人と関	授業の成					
習	わったり、思いや考えを確かな	果物					
取	ものにしたりしながら、主体的	.,.,-					
り		観察					
組む	に学習に取り組んでいる。						
態							
度							